聖学院大学

「対話」による人物評価を重視し、一人ひとりの個性にフォーカス

聖学院大学では、学力だけでは測れない受験生一人ひとりの個性を評価するため、「対話」を重視した選抜を実施している。総合型選抜と学校推薦型選抜では同学独自のポートフォリオである「自己カタログ」の提出を課し、それをもとに面接で高校時代や入学後のビジョンについて確認する。

総合型選抜は5つの方式を実施
「対話」を重視し個性を評価する

総合型選抜は、①オンデマンド講義方式入試、②講義方式入試、③英語特別入試、④アンバサダー入試、⑤課題文自己表現入試の5つの方式を設定している。各入試では調査書のほか、ポートフォリオに準ずる同学独自の「自己カタログ」を提出書類として課し、それを参考資料として面接を実施。自己カタログは主に「高校時代の取り組み」と「大学入学後のビジョン」を記入するもの。前者では委員会活動や部活動での特別な体験でなくとも、受験生一人ひとりが熱心に取り組んできた経験を評価する方針だ。

①オンデマンド講義方式入試では事前に講義動画を視聴し、レポートにまとめ、レポートに基づき講義内容の発表、口頭試問を経て個人面接を実施する。講義動画に対するレポートで表現力、口頭試問で思考力を問う。遠方の受験生にも対応するためにオンデマンド方式を導入。

②講義方式入試では、講義への理解において主に思考力、発表と面接において表現力を問う。日頃の授業に対して真面目に取り組んでいる人を評価する入試である。

③英語特別入試では、一部英語による自己紹介などをしてもらう面接を通じて、英語の勉強に対する意欲を評価する。出願資格としてCEFR「A2」以上の等級・スコアを課す。

④アンバサダー入試は、課題に対するディスカッションを行い、「思考力・判断力・表現力」を審査し、聖学院大学とのマッチングを見定める選抜方式。

⑤課題文自己表現入試は、課題文に対する口頭試問と面接試験を実施することで思考力と表現力を評価する。

「指定校制推薦」は口頭試問＋面接
「公募制推薦」は小論文＋面接を実施

学校推薦型選抜は「指定校制推薦」「公募制推薦」を設定している。総合型選抜同様、共に調査書の他に自己カタログの提出を課し、人物評価を行う。併せて「指定校制推薦」では口頭試問と面接を行い、課題に対する受験生の考え方等の主体性を評価する。「公募制推薦」では小論文試験と面接試験を実施。

一般選抜A日程は3科目受験必須
一度の受験で最大10回判定を受けられる

独自試験の一般選抜A日程は3科目受験必須（国語・英語・選択科目）、B日程～D日程は2科目受験必須（国語・英語）とすることで幅広い受験層に対して受験機会を提供している。A日程は得点を偏差値換算して偏差値合計、B日程・C日程は各科目100点満点、2科目合計200点満点で合否判定を行う。D日程は、各科目100点満点、2科目合計または、高得点1科目での合否判定を行う。A日程では最大5学科併願可能、B日程・C日程は最大3学科併願、D日程は2学科併願可能となる。また、一般選抜すべての日程において、英語外部試験のスコアを独自試験の英語科目に対するみなし得点として換算利用できる。

共通テスト利用選抜は、前期・中期・後期と3日程実施する。

入試・広報課マネージャー
磯田 和久

期待する受験生像

聖学院大学は、学生一人ひとりの可能性を伸ばす少人数教育を実践しています。20人以下の授業が多いなか、大切にしているのは学生と教員との「対話」です。学内では対話をする場が多く、そこで得た気づきを次の成長につなげていくことを目標としています。「対話」は、入試においても本学が重視している点です。総合型選抜や学校推薦型選抜では、受験生が主体的に感じたこと、考えたことを最大限に評価する入試を実施しています。対話を通じて主体的に成長したいという受験生の方と出会えることを楽しみにしています。

INFORMATION

オープンキャンパス

6/25 SAT
7/23 SAT
8/20・22 SAT MON

各種イベントの詳細、
事前申込みはこちらから

お問い合わせ先：アドミッションセンター　〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1　TEL.048-725-6191